

## ◀調査実施までの背景・経緯▶

- ・平成29年度 区部感染症地域医療体制ブロック協議会において、ブロックで連携体制を構築するには、ブロック内の医療体制・資源（人員、医療機器の保有状況等）を把握する必要があるとの意見があった
- ・平成30年度 平成29年度の意見を踏まえ、区部感染症地域医療体制ブロック協議会において、31年度に各医療機関の新型インフルエンザ等患者の受入体制を把握する調査実施について決定
- ・平成31年度 東京都全体の医療体制の現状を把握するため、都内全域を対象として調査を実施

## ◀目的▶

新型インフルエンザ等に関する地域医療確保計画（全体計画）に基づき、新型インフルエンザ等に対応する東京都全体の医療体制の整備を進めるため、都内医療機関の新型インフルエンザ等対策の現状を把握

## ◀調査期間▶

平成31年4月18日から令和元年7月19日まで

## ◀調査方法▶

都の依頼を受けて各保健所において調査を実施し、都が調査結果を取りまとめる

## ◀調査対象▶

- ・都内全病院
- ・感染症診療協力医療機関又は感染症入院医療機関である有床診療所

## ◀主な調査内容▶

- ・新型インフルエンザ等入院患者の最大受入可能病床数
- ・「都内感染期」の出勤想定職員数
- ・新型インフルエンザ等入院患者の治療のための使用可能な機器数
- ・新型インフルエンザ等発生に向けた準備状況



**都全体の新型インフルエンザ等の医療体制の実態を把握し、体制整備を促進  
（次回の東京都感染症医療体制協議会で報告）**

## ◎今年度のスケジュール

- ・ 4月～7月 各保健所において、医療資源把握調査を実施
- ・ 8月 福祉保健局が調査結果を取りまとめる
- ・ 10月～1月 ブロック協議会において、調査結果を踏まえ検討  
東京都感染症医療体制協議会で報告